

以前読んだSFの本の中に
時空のヒズミに迷い込む
話があった
ボクはそんな経験を
したのです

ここだけの話ですが

ONとOFF

たぐちえつお







そもそも僕が
時空のヒズミに
迷い込んだ原因は
バイト帰りの
時だった



霧のような
モノが目の前に
現れたんだ





変な所へ
来た



だんだん
迫って来た



触れて
みたら



そしてまた
変なのが
出た

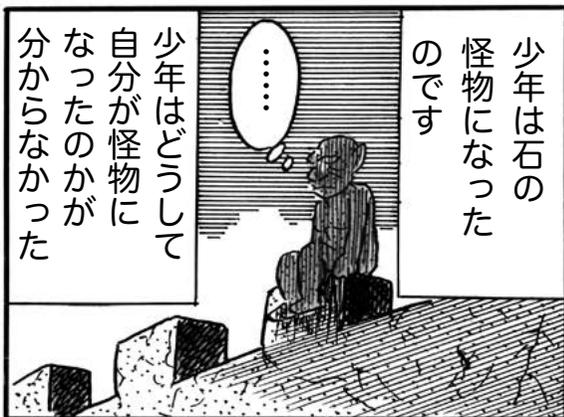


気付くと
大変な所に
いた



少しの間
気絶してた
みたいです







見覚えがある
霧のようなモノが
出てきた



これで人間に
戻れると思った



だが霧のような
モノに触れようにも
体が石なので
動かなかった

ボクはこのまま石で
人生が終わるかと
思うと悲しくなった



全ておまえが
悪いのだ



えっボクが
悪いの？



ああおまえが
禁断の書に
触れただろ



禁断の書
なにそれ？



古くから我々の
世界に伝わる
魔界への扉を
しるした本に
触れたのだ!!

教授から借りた
あの本が!?

読みたい
のなら
貸すぞ

魔界への扉を
開ける本だった
の?

ああその
とおりだ

だから本に
触れては
いけなかったのだ

その本にオンと
オフの大きな
文字が書か
れていたろ

オンの文字に
触れたら
ここに来た

OFF ON

元の世界へ
戻りたければ
簡単さ

オフの文字に
触れれば
いいのさ

おっと体が
固まってちや
何も出来ない
よな

でも体が固まっても
頭の中でオフの文字に
触れるイメージを
持てばいいのさ

それだったら
おまえにも
出来るだろ



ボクは集中して
オフの文字に
触れた



オフの
文字を
イメージ
して触れ
れば
いいんだな



オフの文字に
触れられたな
おめでとう



教授
「魔界X」
この本貸して
下さい

いいよ



ここはおまえが
来る所じゃ
ない 帰れ!!



元の世界へ戻れた
そしてこりずに
また教授の所へ
行った
今度は
どんな本
借りようかな